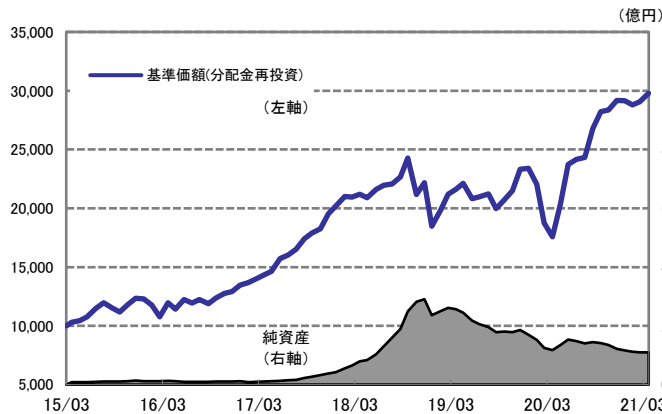


運用実績

2021年3月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000として指数化: 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 29,738 円

※分配金控除後

純資産総額 110.0 億円

- 信託設定日 2015年3月12日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.5%
3ヵ月	2.2%
6ヵ月	5.6%
1年	69.5%
3年	40.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 197.9%

設定来累計 30 円

設定来 = 2015年3月12日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2021年3月31日 現在

資産・市場別配分

資産・市場	純資産比
東証1部	31.2%
東証2部	0.7%
ジャスダック	35.6%
その他の市場	27.8%
株式先物	-
その他の資産	4.6%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

業種別配分

業種	純資産比
情報・通信業	31.7%
サービス業	16.2%
小売業	10.8%
電気機器	8.9%
証券、商品先物取引業	4.4%
その他の業種	23.3%
その他の資産	4.6%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2021年3月31日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
ワークマン	小売業	ジャスダック	3.9%
ハーモニック・ドライブ・システムズ	機械	ジャスダック	3.5%
メイコー	電気機器	ジャスダック	3.3%
グッドパッチ	サービス業	その他の市場	2.9%
アパールデータ	電気機器	ジャスダック	2.8%
日本マクドナルドホールディングス	小売業	ジャスダック	2.7%
芝浦電子	電気機器	ジャスダック	2.7%
セリア	小売業	ジャスダック	2.7%
ナカニシ	精密機器	ジャスダック	2.6%
マクニカ・富士エレホールディングス	卸売業	東証1部	2.6%
合計			29.6%

組入銘柄数 : 59 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。  
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

## 投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.946%(税抜年0.86%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## 《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

### 野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

## 先月の投資環境

○ 3月の国内株式市場は、東証株価指数(TOPIX)が月間で4.80%上昇し、月末に1,954.00ポイントとなりました。JASDAQ INDEXは月間で2.47%上昇し、月末に189.08ポイントとなりました。

○ 3月の国内株式市場は上昇しました。月初は、前月末の下落の反動や根強い景気回復への期待感から反発して始まりしました。米国の2月ISM製造業景況感指数など経済指標の改善が続いていることも好感されました。中旬に入っても、米国において現金給付を含めた約200兆円に及ぶ大型の追加経済対策が成立したことや、FRB(米連邦準備制度理事会)が現状のゼロ金利政策の当面維持を示したこと、国内において首都圏の緊急事態宣言解除の意向が伝わったことなどから、国内株式市場は上昇を続けました。その後は、米国の長期金利が上昇基調を維持したことや、年度末を迎えた国内機関投資家による株式投資比率の調整と思われる売り圧力などにより下落に転じました。月末にかけても、欧州での新型コロナウイルス感染防止に伴う行動制限再強化の動きや国内の新型コロナウイルス変異株による感染再拡大への懸念に加えて、米投資会社の大型損失報道などから下落しましたが、月間では上昇しました。経済活動再開への期待から景気敏感株を中心に上昇したこともあり、内需株が多く属する新興市場はTOPIXに対して劣後しました。

○ 東証33業種で見ると、好調なコンテナ船市況に加え、経済正常化により業績改善が期待される海運業など29業種が上昇しました。一方で原油価格上昇の鈍化により業績回復が懸念された鉱業など4業種が下落しました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 月間の基準価額の騰落率は+2.48%となりました。保有上位銘柄ではメイコーやセリアなどの値上がりプラスに寄与した一方で、ハーモニック・ドライブ・システムズや日本マクドナルドホールディングスなどの値下がりマイナスに影響しました。

○ ノーコード(プログラミング不要)のスマートフォン向けアプリ開発ツールを展開し、認知度向上により契約アプリ数の増加が期待される情報・通信業株を買い付けました。一方で、株価上昇により割安感が薄れた電気機器株を売却しました。

## 今後の運用方針 (2021年3月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

## ○ 今後の投資環境

日本経済は、主に外需の寄与により回復基調が続いています。1-3月期は、11都府県への緊急事態宣言再発令による飲食店への時短営業要請などを背景にサービス消費が減少すると見られるものの、1-2月の実質輸出は昨年10-12月期から年率4%弱の増加となるなど外需が堅調に推移しています。今後は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により感染症への警戒感が緩和されることで、家計や企業のマインドが改善すると見込んでいます。また、1.9兆ドル規模の追加経済対策による米国の経済成長の押し上げが世界に一定程度波及すると見られ、日本経済もその恩恵を受けると考えられます。4-6月期以降は数四半期にわたって日本経済の成長ペースは加速を見込んでいます。日銀は、3月の金融政策決定会合で近年の量的・質的金融緩和の効果の確認を行ないました。金融緩和の持続性を強化し機動的な対応を可能にするため、ETFなどのリスク資産の購入額の目標撤廃や長期金利の変動幅の明確化などを決定しました。急速な円高進行がない限り、日銀は現行政策を維持すると予想しています。当社では、日本の2021年の実質GDP(国内総生産)成長率は前年比+2.9%と予想しています。

## ○ 今後の運用方針

個々の企業の収益力や成長力を見極め、中期的に最高益の更新が期待できる銘柄へ投資をしていく方針です。新型コロナウイルスの感染拡大による社会構造の変化を追い風に成長加速が期待できる企業や、一時的に需要が大幅に落ち込んだ業界で高い競争力を背景にシェア拡大が見込まれる企業に注目しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# 野村ジャパンドリーム(野村SMA・EW向け)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。